

大清水公園前の横断歩道の段差の計測結果

- 実験日時

2015/4/22 (水) 14:00~16:00

- 実験場所

大清水公園前の横断歩道

- 使用機材

TOP-URG No77 を発泡スチロールの高さ約 420mm に横向きに固定し、路面の凹凸を計測する。



図 1 実験装置

- 計測結果

- ヨークベニマル側の計測結果

横断歩道の車道側段差の前方約 1m より計測

センサ後方 0.5m から前方 3m まで、1 スキャンの計測結果をそれぞれ掲載する。図 2 にヨークベニマル側の段差の計測の様子を、図 3 に計測結果を、図 4 に縁石部分の拡大結果を示す。歩道と車道との間の段差は、目視の通り凹状となっていることが URG でも計測できることがわかった。



図 2 ヨークベニマル側の段差の実験風景

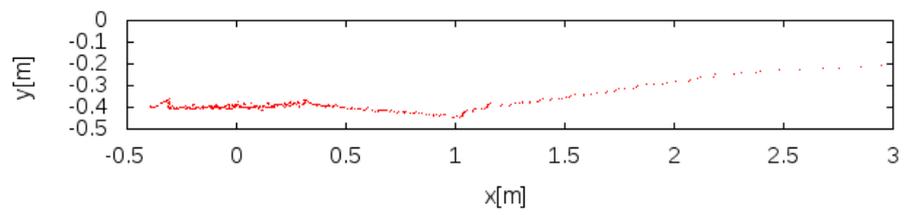


図 3 ヨークベニマル側の段差の計測結果

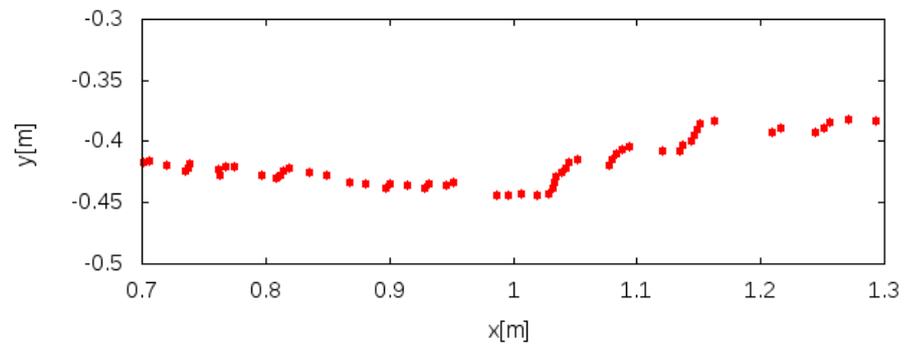


図 4 縁石部分の拡大結果

➤ 大清水公園側の段差の計測結果

横断歩道の車道側段差の前方約 1m より計測

センサ後方 0.5m から前方 3m まで、1 スキャンの計測結果をそれぞれ掲載する

図 5 に大清水公園側の段差の計測の様子を、図 6 に計測結果を、図 7 に縁石部分の拡大結果を示す。

大清水公園側の段差は、車道側の小さな段差の後に排水用の窪みがあり、その後縁石による段差があることがわかった。計測結果を見ると、センサ前方 300mm にある小さな段差の部分で、約 50mm の過剰な凸部を検出した。この凸部は、計測の場所を変えても検出されてしまった。



図 5 大清水公園側の段差の実験風景

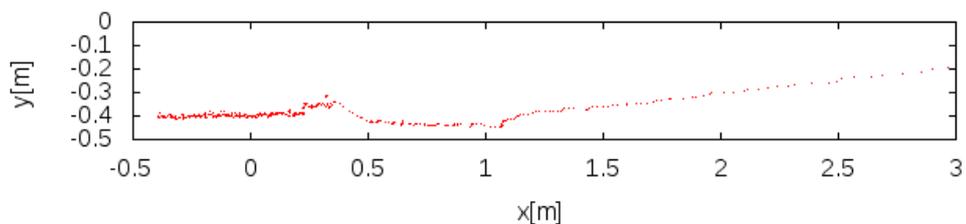


図 6 大清水公園側の段差の計測結果

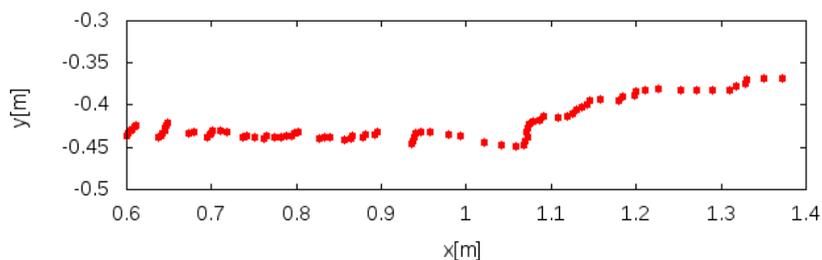


図 7 縁石部分の拡大結果

➤ 歩道側から見た段差の計測実験結果

ヨークベニマル側の歩道から車道にかけての段差を計測した結果を示す。図 8 に実験の様子を、図 9 に計測結果を、図 10 に縁石部分の拡大結果を示す。

歩道上から計測しても、段差部分の斜面、車道にかけての勾配を計測することが可能であることがわかる。



図 8 ヨークベニマル側の歩道から段差の風景実験

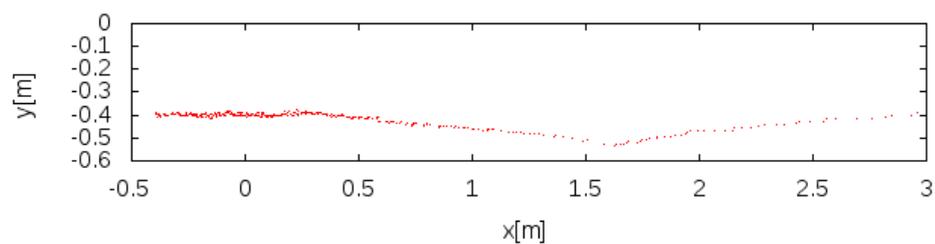


図 9 ヨークベニマル側の歩道から段差の実験結果

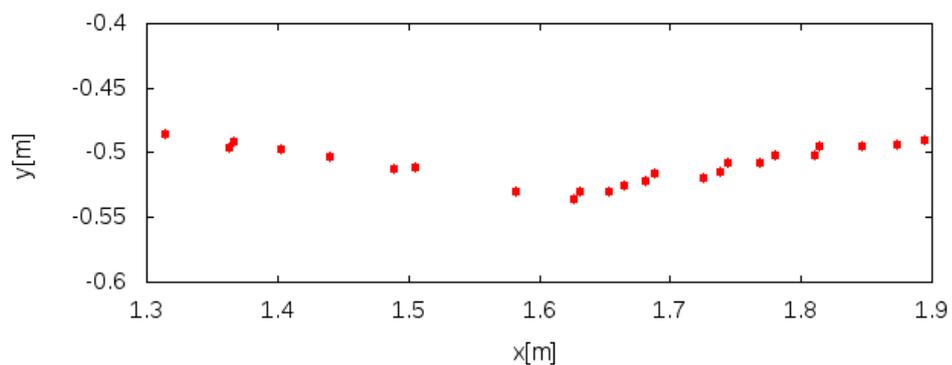


図 10 縁石部分の拡大結果